

## 第2回那覇空港技術検討委員会 議事概要

### 1. 開催日時

平成20年10月24日（金）15：00～17：30

### 2. 開催場所

沖縄県水産会館

### 3. 出席者

#### (1) 委員

大森 保	琉球大学理学部教授
小田 勝也	国土交通省国土技術政策総合研究所沿岸海洋研究部長
香村 眞徳	琉球大学名誉教授
遠藤弘太郎	(佐藤委員代理) 定期航空協会企画小委員会委員
島田章一郎	那覇空港ビルディング株式会社常務取締役
津嘉山正光	琉球大学名誉教授
辻 安治	国土交通省国土技術政策総合研究所空港研究部長
轟 朝幸	日本大学理工学部社会交通工学科教授
東 良和	沖縄経済同友会観光委員長
福島 駿介	琉球大学名誉教授
宮城 邦治	沖縄国際大学総合文化学部教授
屋井 鉄雄	東京工業大学大学院総合理工学研究科教授

#### (2) 関係者

大越 康史	国土交通省航空局空港部計画課空港計画企画官
傍士 清志	国土交通省大阪航空局空港部長
菅野 顕	国土交通省大阪航空局那覇空港事務所長
上原 良幸	沖縄県企画部長
吉永 清人	内閣府沖縄総合事務局開発建設部長
津田 修一	沖縄総合事務局那覇港湾・空港整備事務所長

### 4. 主な議題

- (1) 第1回那覇空港技術検討委員会の指摘事項と対応案について
- (2) 航空需要予測の精査について
- (3) 費用便益分析の算定方法について
- (4) 滑走路増設案の検討について
- (5) 評価項目の設定について
- (6) 複数案の比較検討について

### 5. 議事概要

- (1) 事務局より、議事次第の議事に沿って各資料を説明すると共に、10月21日に沖縄県が主催して開催した那覇空港構想段階地域連絡会議（構成メンバーは、沖縄県及び那覇空港に密接に関係のある那覇市、豊見城市、糸満市）の概要が報告された。同会議における主な意見として、各市より、空港能力の確保、騒音の低減、歴史的価値の保全等にかかる意見があったが、特に、豊見城市より、瀬長島の改変のある滑走路増設案は容認できない旨の発言があったことが紹介された。
- (2) 総合的な調査PIステップ3で寄せられた現滑走路隣接案に対する反対意見及

び総合的な調査P I ステップ3以降の地元からの意見表明等が紹介され、その後、質疑応答がなされた。

- (3) なお、質疑応答の冒頭に、沖縄県企画部長より以下の発言があり、これを受けて、屋井委員長より、今後、国と沖縄県とで、関係市町村とも連携をとって進めて欲しい旨の発言があった。
  - (イ) 21日的那覇空港構想段階地域連絡会議における関係市の意見表明、23日的那覇空港拡張整備促進連盟による「那覇空港の拡張に整備について」の声明（別紙参照）について、沖縄県としては重く受けとめる必要があると考える。
  - (ロ) また、騒音影響低減の観点から増設滑走路を沖側に出す必要がある。
  - (ハ) 瀬長島については、12箇所もの拝所があり、島に対する信仰はあつい。大嶺崎についても、制限区域にも係わらず現状でも昔住んでおられた方々が通って拝みを行っている。
  - (ニ) 当該事業は、沖縄県の戦後最大のプロジェクトと思っており、アジア諸国等と肩を並べるような空港となるよう期待している。
- (4) 本委員会にて了承が得られた内容は、以下のとおり。
  - (イ) 資料1～5の内容が了承された。
  - (ロ) 資料6の複数案の比較検討について、評価項目毎の評価については了承が得られた。ただし、記載内容や表現の方法については、構想段階P Iで提示する上で、よりわかりやすく工夫する必要があるとされた。一方、評価項目の総合評価について、本日の委員会では、文言の精査までは検討しないこととなった。
  - (ハ) 210m案に対しては、総合的な調査P I ステップ3から今日に至るまで、県民や関係市等より、瀬長島の歴史的価値をないがしろにするもの等の理由で反対する意見が多いことが改めて示されたことから、委員会としても同案は地元にとって受け入れがたいものであると認識し、今後の技術検討から除外することが了承された。
  - (ニ) 構想段階P Iでは、複数の代替案（最低2案）を提示して意見を求めることが基本的な考え方であることが確認された。
  - (ホ) 本委員会としては、1,310m案及び930m案の2案を那覇空港構想・施設計画検討協議会に提出することが了承された。但し、930m案については、総合的な調査段階から本会合までに、滑走長等の条件が変更されたため、事務局で更に検討を行うこととされた。また、第2回委員会までの審議経過からは、各案の優劣は付けずに複数案を同協議会に提示することが妥当とされた。
  - (ヘ) 騒音については、構想段階P I用パンフレットに掲載することが確認された。
- (5) その他、主な意見は以下のとおり。
  - (イ) 210m案は、現滑走路が閉鎖した場合、悪天候時に使用できずリダンダンシーの面から好ましくないと考える。
  - (ロ) サンゴ礁消失のデメリットについて、サンゴ礁の景観を入れることができないかを検討して欲しい。また、増設滑走路と現滑走路に囲まれる閉鎖性水域について、可能であれば、水質の観点から水の交換率についても検討して欲しい。
  - (ハ) 930m案は、1,310m案に比べて優れている点が少なく、1,310m案と並べて構想段階P Iに示す案としては力不足の感はある。ただし、地上走行距離やサンゴ消失面積等では優位であることから、地上走行距離のメリット等を増す案を、瀬長島を改変しない前提で更に検討し、対案として意見を聞くことが妥当であるとされた。
  - (ニ) 資料6の各項目に記載されている文章が長いため、理解しにくいので、できるだけ短くし、理解しやすいようにして欲しい。

## 那覇空港の拡張整備について

那覇空港の拡張整備については、整備主体である国において、滑走路増設案を絞り込む「構想段階」の検討がなされているところであり、去る１０月２１日には、県と那覇空港の近隣市町村（那覇市、糸満市及び豊見城市）で構成する「那覇空港構想段階地域連絡会議」が開催され、滑走路増設のあり方について、３市の意見が表明されたところであります。

これまで那覇空港拡張整備の早期実現を訴え続けてきた当連盟といたしましても、下記の意見を踏まえ検討して頂くよう国に対し要望します。

### 記

- 1 航空輸送のほかに高速輸送手段がない島嶼県沖縄にとって、那覇空港の拡張整備は、本県の将来発展を左右する重要なプロジェクトであり、国内外の航空ネットワークの充実を図り、これら国や地域との交流を促進する上で空港能力を最大限確保する必要があることから、増設滑走路と現滑走路の離隔距離を１，３１０メートル以上とすること。
- 2 那覇空港構想段階地域連絡会議において、地元３市から「瀬長島への影響」や「騒音問題」について強い懸念が表明されたところであるが、那覇空港拡張整備の早期実現のためには、周辺住民並びに地元の理解と協力が不可欠であることから、整備にあたっては、次の理由によりできるだけ沖合に配置すること。
  - (1) 那覇空港は、本県の産業振興と雇用の創出につながることが期待される国際貨物基地構想をはじめ、その地理的優位性を活かした国のアジアゲートウェイ構想の主要な拠点及び国際流通港湾である那覇港と近接する特性を活かした国際空港化に伴い２４時間運用空港となることから、航空機騒音の周辺住民に与える影響が懸念されるが、その対策として増設滑走路によりその軽減を図ることができる。
  - (2) 瀬長島、豊崎、与根は、第３次沖縄県観光振興計画において、臨空港型の観光・リゾート拠点「エアウェイ・リゾート豊見城地域」として指定されており、観光産業の振興に重要な地域である。

また、瀬長島や大嶺崎周辺は、周知の埋蔵文化財包蔵地に指定されており、歴史的・文化的価値の高い地域であるとともに、瀬長島は豊見城市のシンボルであることから、両地域の改変については、回避すべきである。

平成２０年１０月２３日

那覇空港拡張整備促進連盟

会長 知 念 榮 治

# 那覇空港拡張整備促進連盟構成団体等名簿

1	会 長	( 社 ) 沖 縄 県 経 営 者 協 会 会 長	知 念 榮 治
2	副会 長	沖 縄 県 商 工 会 議 所 連 合 会 会 長	國 場 幸 一
3	副会 長	( 社 ) 沖 縄 県 工 業 連 合 会 会 長	島 袋 周 仁
4	副会 長	沖 縄 経 済 同 友 会 代 表 幹 事	當 眞 嗣 吉
5	副会 長	沖 縄 県 中 小 企 業 団 体 中 央 会 会 長	仲 田 重 利
6	副会 長	沖 縄 県 商 工 会 連 合 会 会 長	荻 堂 盛 秀
7	副会 長	沖 縄 県 農 業 協 同 組 合 中 央 会 会 長	赤 嶺 勇
8	副会 長	沖 縄 県 漁 業 協 同 組 合 連 合 会 会 長	下 地 敏 彦
9	副会 長	( 財 ) 沖 縄 観 光 コ ン べ ン シ ョ ン ビ ュ ー - ロ - 会 長	平 良 哲
10	副会 長	( 社 ) 沖 縄 県 建 設 産 業 団 体 連 合 会 会 長	吳 屋 守 將
11	副会 長	沖 縄 県 情 報 通 信 関 連 産 業 団 体 連 合 会	大 城 弘 道
12	副会 長	( 社 ) 沖 縄 県 婦 人 連 合 会 会 長	大 城 節 子
13	副会 長	沖 縄 県 議 会 議 長	高 嶺 善 伸
14	副会 長	沖 縄 県 市 長 会 会 長	翁 長 雄 志
15	副会 長	沖 縄 県 市 議 会 議 長 会 会 長	安 慶 田 光 男
16	副会 長	沖 縄 県 町 村 会 会 長	宮 城 篤 篤
17	副会 長	沖 縄 県 町 村 議 会 議 長 会 会 長	前 田 善 輝
18	副会 長	豊 見 城 市 長	金 城 豊 明
19	副会 長	系 満 市 長	上 原 裕 常
20	副会 長	沖 縄 県 副 知 事	仲 里 全 輝
21	監 事	( 社 ) 沖 縄 県 銀 行 協 会 会 長	安 里 昌 利
22	監 事	( 社 ) 日 本 青 年 会 議 所 沖 縄 地 区 協 議 会 会 長	安 里 政 晃
23	会 員	那 覇 市 議 会 議 長	安 慶 田 光 男
24	会 員	豊 見 城 市 議 会 議 長	大 城 英 和
25	会 員	系 満 市 議 会 議 長	大 玉 城 朗 永
26	会 員	沖 縄 県 水 テ ル 旅 館 生 活 衛 生 同 業 組 合 理 事 長	宮 里 一 郎
27	会 員	( 社 ) 日 本 水 テ ル 協 会 沖 縄 支 部 支 部 長	平 良 朝 敬
28	会 員	沖 縄 県 青 年 団 協 議 会 会 長	照 屋 仁 士
29	会 員	( 財 ) 沖 縄 県 国 際 交 流 ・ 人 材 育 成 財 団 理 事 長	川 満 茂 雄
30	会 員	自 由 民 主 党 沖 縄 県 支 部 連 合 会 会 長	具 志 孝 助
31	会 員	社 会 民 主 党 沖 縄 県 連 合 委 員 長	照 屋 寛 德
32	会 員	公 明 党 沖 縄 県 本 部 代 表	系 洲 朝 則
33	会 員	沖 縄 社 会 大 衆 党 委 員 長	喜 納 昌 春
34	会 員	民 主 党 沖 縄 県 総 支 部 連 合 会 代 表	喜 納 昌 吉
35	会 員	那 覇 空 港 ビ ル デ ィ ン グ 株 式 会 社 社 長	嘉 数 昇 明
36	顧 問	衆 議 院 議 員	仲 村 正 治
37	顧 問	衆 議 院 議 員	嘉 数 知 賢
38	顧 問	衆 議 院 議 員	照 屋 寛 德
39	顧 問	衆 議 院 議 員	西 銘 恒 三
40	顧 問	衆 議 院 議 員	安 次 富 修
41	顧 問	衆 議 院 議 員	下 地 幹 郎
42	顧 問	衆 議 院 議 員	系 数 慶 子
43	顧 問	衆 議 院 議 員	島 尻 安 伊
44	顧 問	衆 議 院 議 員	喜 納 昌 子
45	顧 問	衆 議 院 議 員	山 内 德 信
46	幹 事 長	沖 縄 県 経 営 者 協 会 専 務 理 事 長	又 吉 民 人
47	幹 事	沖 縄 県 企 画 部 市 長	上 原 良 幸
48	幹 事	那 覇 市 副 市 長	與 儀 弘 子
49	幹 事	豊 見 城 市 副 市 長	赤 嶺 要 善